

ヴェリタス学習会通信 102

予定表カレンダー →



令和7年9月の予定

- ・月曜日 9月1・8・15・22・29日 大安公民館1階研修室 18:30～21:00
- ・火曜日 9月2・9・16・30日 員弁老人福祉センター1階会議室3 18:00～20:30
23日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・水曜日 9月3・10・17・24日 ヴェリタス事務局 18:30～21:00
- ・木曜日 9月4・11・18・25日 北勢市民会館1階リハーサル室 18:30～21:00

藤原文化センターは休止中です。水曜日はヴェリタス事務局で開会しています。

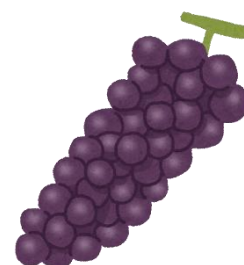
9月23日(火)は会場休館日のため、ヴェリタス事務局でおこないます。

ヴェリタス事務局の所在地は、511-0261 いなべ市大安町丹生川上 650-1 です。

丹生川上集会所(旧丹生川上児童館・教育集会所)内です。

警報が出ている場合は休会にします。いつもその会場に来ている方にはLINEなどで

お知らせいたしますが、不安な場合はお問い合わせください。



連絡先

ヴェリタス学習会担当まつみやの携帯電話番号：090-7696-0189 (+メッセージも可能)

メールアドレス：npoveritas@gmail.com

LINE ID：m9s0bay (4文字目は数字のゼロです)

Facebookの「松宮 卓」に友達申請していただければMessengerが使えます。

メールやLINE登録をさせていただいた方には、それを利用して休会連絡を行います。手数削減協力のため、できる限りご登録ください。LINEを利用して、宿題等の画像を送ってくる子もいます。自分でできるところまでやって送ってもらうと、効果的な返信ができます。



Zoomなどの会議ツールを利用しませんか

利用が広がっているZoomクラウドミーティングやSkype, Facetime, Google Meetなどを利用して学習しませんか。興味のある方は、ご相談ください。

(画像は生成したもので、実在の人物ではありません)



「女王」は「じょうおう」それとも「じょおう」？

放課後児童クラブ（学童保育所）に来ている児童が、いやいやながら宿題をしています。身に付くような助力はなかなかできないのですが、途中でやめてしまいそうになる子を励まして、進めてもらう努力をしています。

低学年の漢字の宿題の中に『女王』の読みをかけ」というものがありました。その宿題をしていた子は『じょおう』と書いていました。

女	ジョ	女子、女流、少女	海女（あま）
	ニョ	女人、天女、善男	
	ニョウ	善女	
	おんな	女房	
	め	女、女心、女らし	乙女（おとめ）
		い	
		女神、女々しい	

右は文化庁の「常用漢字表の音訓索引」に掲載されている「女」という字の読み仮名とその使用例です。「女王」使用例は出ていませんが、「にょ」「にょう」「おんな」「め」は当てはまらないので、「じょ」が正解でしょう。良かったです。その児童は正しく書けました。

しかし、皆さんは「女王」を「じょうおう」と発声していませんか。私は「じょうおう」という気持ちで声に出しています。実際は「じょーおー」に近いと思います。「女帝」は「じょてい」と発声しますが、「じょおう」は言いにくいからです。

なぜ「じょおう」が言いにくいのか？

「じょおう」をローマ字で書いてみると **joou** となります。この **oo** と同じ音の母音が続くことになり、発声がしにくくなってしまいます。このため **jouou** と **u** を入れたり、「じょーおう」と伸ばし棒を使って長音とする **jôou**（または **jôô**）とすると発声しやすくなります。「おう」**ou** は「おー」**ô** とすると発声しやすくなります。

「東方見聞録」（とうほうけんぶんろく）も「とーほーけんぶんろく」と発声するといひやすいですね。**touhou**→**tôhō**。（現行の中学校の歴史教科書では、マルコ・ポーロのこの書籍は、「世界の記述」という名前で紹介されています）

（上は ChatGPT に描いてもらった女王クレオパトラ）



リズムも関係

同じ母音が続くわけではないのですが、二字の漢字で、通常ひらがな二字で読まれる熟語に「う」や「い」または「ー」が割り込むことがあります。

- ・「夫婦」「ふふ」→「ふうふ」「ふーふ」 テストでは「ふうふ」と書いてください。
- ・「詩歌」「しか」→「しいか」「しーか」 テストでは「しいか」と答えてください。
- ・「披露」「ひろ」→「ひろう」「ひろー」 テストでは「ひろう」をお願いします。

漢字の読みそのままだと他の言葉と勘違いされたり、リズムが悪いと感じられたりするからです。

女房の「にょうぼう」は認められています



「女」に戻ります。「女房」は本来「にょぼう」です。しかし冒頭の常用漢字表にあるように「にょうぼう」と「にょう」読みが認められています。これは、江戸時代以前から使われてきたからです。「夫婦」「詩歌」「披露」もそうです。伝統は強い。

（体育は「たいいく」が正しい表記ですが、同じ母音の重複を嫌い、「たいく」と一つ消して言う例もあります）

©2025 NPO Veritas All rights reserved